



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年8月5日

上場会社名 株式会社中京医薬品 上場取引所 東
 コード番号 4558 URL <http://www.chukyoiyakuhin.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 正行
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 辻村 誠 TEL 0569-29-0202
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,482	2.8	13	—	17	—	5	—
27年3月期第1四半期	1,442	△10.9	△60	—	△58	—	△38	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	0.71	—
27年3月期第1四半期	△4.74	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	5,090	1,833	36.0	221.66
27年3月期	4,966	1,843	37.1	223.20

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 1,833百万円 27年3月期 1,843百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
28年3月期	—				
28年3月期（予想）		2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,020	6.4	35	—	40	—	20	—	2.47
通期	6,230	3.5	175	—	184	—	95	—	11.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	11,660,734株	27年3月期	11,660,734株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	3,387,573株	27年3月期	3,399,073株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	8,266,969株	27年3月期1Q	8,214,925株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による成長戦略に基づく経済対策や金融緩和による円安・株高が進行し、国内景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方では、消費税増税による個人消費への影響の長期化や海外経済動向など、先行きについては、依然不透明な状況が続いております。

このような環境の中で、当社は「もっと健康、ずっと幸せ。」を企業スローガンとして定め、お客様が心身共に健康で幸せな社会生活を営むことに貢献し続けていくことを使命として捉え、より一層お客様に「健康」と「幸福」をお届けできる企業を目指すために邁進してまいりました。さらに、お客様本位の営業を徹底し営業効率の向上と販売費及び一般管理費の削減による財務基盤の強化にも取り組みました。

家庭医薬品等販売事業におきましては、効率的となった営業体制と強固な財務基盤を維持継続しつつ、中期経営計画に基づき利益を重視した経営戦略を推進してまいりました。

またアクアマジック事業部で展開いたしております売水事業につきましては、今年4月に鈴鹿ウォーターショップ(三重県)を開設しました。これにより製造設備が充実し、生産能力が向上しました。それに伴いTwo-Way方式の拡大に加え、ボトルの回収が不要なOne-Way方式においても注力し、全国展開による営業エリア拡大と顧客数の増加など事業拡大に努めました。

その結果、当第1四半期累計期間における売上高は1,482百万円(前期比2.8%増)、営業利益は13百万円(前期は営業損失60百万円)、経常利益は17百万円(前期は経常損失58百万円)、また四半期純利益は5百万円(前期は四半期純損失38百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①家庭医薬品等販売事業(小売部門・卸売部門)

小売部門においては、消費税増税による消費への影響が長期化し、品目別においてもドリンクや保健品等の販売が減少したため、売上高は減少となりました。

卸売部門においては、水素水などの飲料の販売活動に注力したためスーパー等の量販店での販売数量が増加しました。

その結果、売上高は1,330百万円(前期比1.6%増)、セグメント利益25百万円(前期はセグメント損失56百万円)となりました。

②売水事業部門

昨今の健康志向ブームによる飲料水へのこだわりと、拡大するミネラルウォーター宅配市場の成長の波に乗り、早期に中核事業の1つとして確立することを目標としております。またOne-Way方式により営業エリアが拡大され顧客への拡販も積極的に取り組みました。その結果、売上高は151百万円(前期比14.8%増)、セグメント損失12百万円(前期はセグメント損失3百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は2,600百万円となり、前事業年度末に比べ158百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加58百万円、受取手形及び売掛金の増加55百万円によるものであります。固定資産は2,489百万円となり、前事業年度末に比べ35百万円減少いたしました。これは主に建物及び構築物の増加269百万円、有形固定資産のその他の減少300百万円によるものであります。

この結果、総資産は5,090百万円となり、前事業年度末に比べ123百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は2,253百万円となり、前事業年度末に比べ174百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の増加86百万円、短期借入金の増加80百万円によるものであります。固定負債は1,002百万円となり、前事業年度末に比べ40百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少46百万円によるものであります。

この結果、負債合計は、3,256百万円となり、前事業年度末に比べ133百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は1,833百万円となり、前事業年度末に比べ10百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金の減少14百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は36.0%(前事業年度末は37.1%)、1株当たり純資産額は221.66円(前事業年度末は223.20円)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年5月15日付けにて発表しました業績予想からの変更はありません。詳細につきましては「平成27年3月期決算短信」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	969,362	1,027,706
受取手形及び売掛金	475,382	530,686
商品及び製品	335,102	333,108
委託商品	396,735	389,490
仕掛品	92	186
原材料及び貯蔵品	35,355	32,152
その他	234,815	292,776
貸倒引当金	△4,675	△5,240
流動資産合計	2,442,171	2,600,865
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	412,317	681,722
土地	1,303,487	1,303,487
その他(純額)	428,611	128,167
有形固定資産合計	2,144,416	2,113,376
無形固定資産	68,247	69,724
投資その他の資産		
前払年金費用	53,830	60,436
その他	262,687	250,116
貸倒引当金	△4,405	△4,375
投資その他の資産合計	312,112	306,177
固定資産合計	2,524,776	2,489,278
資産合計	4,966,947	5,090,144
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	398,035	484,328
短期借入金	790,000	870,000
1年内返済予定の長期借入金	173,976	173,976
未払法人税等	6,912	37,192
賞与引当金	158,030	240,130
返品引当金	29,892	11,772
その他	522,354	436,056
流動負債合計	2,079,200	2,253,455
固定負債		
長期借入金	595,998	549,148
退職給付引当金	134,634	135,658
資産除去債務	4,502	4,514
長期未払金	234,590	234,590
その他	74,055	78,969
固定負債合計	1,043,781	1,002,880
負債合計	3,122,981	3,256,336

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	681,012	681,012
資本剰余金	424,177	424,177
利益剰余金	1,747,239	1,732,397
自己株式	△1,020,561	△1,017,111
株主資本合計	1,831,868	1,820,475
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,097	13,331
評価・換算差額等合計	12,097	13,331
純資産合計	1,843,965	1,833,807
負債純資産合計	4,966,947	5,090,144

（2）四半期損益計算書
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年6月30日）
売上高	1,442,177	1,482,565
売上原価	495,171	466,990
売上総利益	947,005	1,015,574
販売費及び一般管理費	1,007,773	1,002,564
営業利益又は営業損失（△）	△60,767	13,010
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	696	785
受取家賃	3,099	3,963
事故保険金	277	756
その他	432	541
営業外収益合計	4,509	6,049
営業外費用		
支払利息	1,854	1,887
支払手数料	595	34
その他	0	0
営業外費用合計	2,449	1,921
経常利益又は経常損失（△）	△58,707	17,138
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6,487
特別利益合計	—	6,487
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△58,707	23,625
法人税、住民税及び事業税	13,841	33,036
法人税等調整額	△33,625	△15,295
法人税等合計	△19,783	17,740
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△38,924	5,884

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高 外部顧客への 売上高	1,196,775	112,482	131,572	1,440,830	1,346	1,442,177
計	1,196,775	112,482	131,572	1,440,830	1,346	1,442,177
セグメント利益 又は損失(△)	17,833	△74,710	△3,890	△60,767	—	△60,767

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高 外部顧客への 売上高	1,180,692	149,994	151,061	1,481,748	817	1,482,565
計	1,180,692	149,994	151,061	1,481,748	817	1,482,565
セグメント利益 又は損失(△)	48,751	△23,107	△12,634	13,010	—	13,010

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。